

鬼北町議会 9月定例会

第3回鬼北町議会定例会は9月15、22の2日間で開催されました。会では議案11件、認定13件、発議1件が提案され、全ての案件について原案のとおり可決、認定されました。

議案

- 鬼北町公共施設等整備管理基金条例の制定について
- 鬼北町営土地改良事業費分担金徴収条例の一部を改正する条例について
- 鬼北町介護保険条例の一部を改正する条例について
- 鬼北町営住宅管理条例の一部を改正する条例について
- 損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について
- 平成29年度鬼北町一般会計補正予算(第2号)について
- 平成29年度鬼北町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について
- 平成29年度鬼北町浄化槽市町村整備推進事業特別会計補正予算(第1号)について
- 平成29年度鬼北町介護保険特別会計補正予算(第1号)について
- 平成29年度鬼北町水道事業会計補正予算(第1号)について
- 平成29年度鬼北町一般会計補正予算(第3号)について

- 平成28年度鬼北町用品調達特別会計決算の認定について
- 平成28年度鬼北町住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について
- 平成28年度鬼北町国民健康保険特別会計決算の認定について
- 平成28年度鬼北町国民健康保険診療所特別会計決算の認定について
- 平成28年度鬼北町農業集落排水事業特別会計決算の認定について
- 平成28年度鬼北町浄化槽市町村整備推進事業特別会計決算の認定について
- 平成28年度鬼北町介護保険特別会計決算の認定について
- 平成28年度鬼北町日吉簡易水道特別会計決算の認定について
- 平成28年度鬼北町後期高齢者医療保険特別会計決算の認定について
- 平成28年度鬼北町ニュータウン鬼北の里特別会計決算の認定について
- 平成28年度鬼北町水道事業会計決算の認定について
- 平成28年度鬼北町病院事業会計決算の認定について

発議

- 地方の道路整備の推進に関する意見書(案)について

一般質問

◆ 中山 定則 議員

【近永駅周辺開発の実施について】

問 第二次鬼北町長期総合計画中にある近永駅周辺再開発の内容はどのようなものか。

答 近永駅周辺再開発にあたっては、まず駅舎の改修を行うことが必要である。その改修を踏まえて、近永商店街への人の流れを作り、活性化を図っていくことが一つの方策であると考えている。具体的な再開発計画については、今後周辺の住民の方々や商工会と協議を重ねながら検討していきたい。

問 JR近永駅舎の改築および駅前の整備計画はどのようなものか。

答 これまでも数回JR四国本社に伺い、協議を重ねているところであるが、駅舎の改築には莫大な費用を要するとともに、住民や利用者の皆さんの理解を得ることも必要であることから、現在、駅前の整備も含めてその方向性を模索しているところである。

問 近永駅乗降客数の目標値達成の方策はどのようなものか。

答 予土線利用促進対策協議会のこれまでの取り組みとしては、「予土線感謝祭」の開催、沿線の景観整備、フォトコンテストや川柳コンテストの開催、特産品の車内販売等の実施、予土線ミーツプロジェクトの実施など、観光面から予土線の利用を促進し、交流人口の拡大と沿線地域の活性化を図るとともに、予土線利用者のリピーター率を向

上させ、親しみのある路線として定着を目指して、予土線の存続に向けた機運醸成に努めているところである。

また、JR四国においても、新デザインのビールトロッコ列車の運行、あるいは愛媛県や海洋堂と連携したサイクルトレインやホビートレインの運行など、予土線対策に力を入れていただいている。

問 総合計画に掲げている施策展開をどのように図っていくか。

答 具体的な計画の策定にあたっては、周辺の住民の方々や商工会、JR四国等との関係機関と十分に協議しながら慎重に進めていきたい。

また、予土線は四国西南地域における交通体系の基幹となる重要な路線であるが、社会の進展、沿線地域の人口減少等により、利用者数は大きく減少し、運行体制の見直しなどが懸念されているところである。

一方、予土線沿線は、高齢化と人口減少等による地域活力の減退等の課題を抱えており、予土線の利用促進は、生活路線の確保および沿線地域の振興にとつて非常に重要な施策である。愛媛県側と高知県側の予土線利用促進対策協議会、さらにJR四国と連携して、慎重にまた、情勢を見極めながら、利用促進に向けた最善の策を講じていきたい。

◆ 末廣 啓 議員

【消防団のあり方について】

問 現在の消防団員全体と、各分団の充足率について

答 鬼北町消防団の定数については、